

当地域の景気動向

(2020年10月19日現在)

各調査機関が発表している当地域の景気動向をまとめました。

最近の管内総合経済動向（中部経済産業局）

<http://www.chubu.meti.go.jp/a51chosa/doko.html>

(10月公表要旨)

【生産】	持ち直しの動きがみられる。
【個人消費】	弱まっているものの、一部に持ち直しの動きがみられる。
【設備投資】	製造業を中心に弱い動きが広がっている。
【公共投資】	持ち直しの動きがみられる。
【住宅投資】	弱い動きとなっている。
【輸出】	持ち直しの動きがみられる。
【雇用】	需給が緩和している。

このように、管内の経済活動は、低迷しているものの、生産面に持ち直しの動きがみられる。

あいち経済の動き（愛知県）

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/0000087453.html>

(10月公表 報告書7月)

【生産】	鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比28.5%の上昇
【投資(設備投資)】	金属工作機械総受注高は、前年比29.4%の減少
【投資(住宅建設)】	新設住宅の月間着工戸数は、前年比10.9%の減少
【個人消費】	百貨店・スーパー販売額は、前年比1.0%の増加
【雇用】	有効求人倍率は、1.07倍
【貿易(輸出)】	名目輸出額は、前年比26.6%の減少
【投資(公共工事)】	公共工事の月間請負金額は、前年比5.8%の減少
【貿易(輸入)】	名目輸入額は、前年比24.6%の減少
【企業(倒産)】	月間倒産件数は、前年比15.2%の増加
【金融】	貸出残高は、前年比24.5%の増加
【物価(企業)】	企業物価指数は、前年比0.9%の下落
【物価(消費者)】	名古屋市消費者物価指数は、前年比0.3%の上昇

愛知県経済の現状と見通し（(株)三十三総研）

https://www.miebank.co.jp/33ir/research/aichi_keizaijyousei.html

(9月公表要旨)

【景気の現状】	厳しい状況にあるものの、一部に下げ止まりの動きがみられる
【当面の見通し】	厳しい状況が続くなか、底入れに向かう見通し
【個人消費】	下げ止まりの動きがみられる
【雇用】	悪化しつつある
【住宅投資】	弱含んでいる
【企業活動】	下げ止まりの動きがみられる
【企業倒産】	悪化しつつある
【輸出】	下げ止まりの動きがみられる
【公共投資】	このところ弱含んでいる

東海3県の金融経済動向（日本銀行名古屋支店）

<http://www3.boj.or.jp/nagoya/kouhyou/getsurei.html>

（10月公表要旨）

東海3県の景気は、厳しい状態が続くなかでも、持ち直している。

【輸出】	持ち直している
【設備投資】	横ばい圏内となっている
【個人消費】	持ち直しの動きがみられている
【住宅投資】	弱い動きとなっている
【公共投資】	高めの水準で推移している
【生産】	持ち直している
【雇用・所得】	弱い動きがみられている
【物価】	前年を下回っている
【貸出】	運転資金需要を背景に、前年を大幅に上回っている。足もとにかけては、新規貸出に一服感がみられる
【貸出金利】	引き続き低下傾向にある
【預金】	高い伸びとなっている

景況レポート（いちい信金）

<http://www.shinkin.co.jp/ichii/keikyo.html>

（2020年10月発行）

今期（7～9月）の実績見込み

業種別でみると、運輸・通信業は下降、それ以外の業種は改善となった。

来期（10～12月）の見通し

業種別でみると、不動産業は下降、それ以外の業種は改善する見通しである。

中小企業景況調査（愛知県商工会連合会）

（7月～9月期実績、10月～12月期見通し）

産業全体のすべて指標が6期ぶりに好転

今期の産業全体の景況は、売上額DIが△62.2、採算DIが△60.9、資金繰りDIが△37.7となり、対前期比でそれぞれ、15.4ポイント、4.7ポイント、13.2ポイント好転し、すべての指標で改善した。産業別では、製造業の採算DIの好転、小売業の採算DIの低下が目立つ結果となった。

次期は、売上額DI、採算DIの指標が上昇、資金繰りDIが悪化する見通しである。